

地域活動の拠点は 公民館↓コミセン



市議会第4回定例会(12月定例会)最終日(12月13日)

平成25年八幡平市議会第4回定例会(12月定例会)を昨年12月5日から13日までの9日間、市議会議場で開きました。今回の定例会では、14人が一般質問をしたほか、公民館を廃止し、コミュニティセンター移行に関連した議案などの審議を行い、全25議案を原案のとおり可決しました。ここでは、昨年10月3日に開いた第2回臨時会、同11月18日に開いた第3回臨時会と併せ、12月定例会の主な内容を紹介いたします(金額はそれぞれ1万円未満切り捨て)。

◆10月3日◆

第2回臨時会

原案可決

●平成25年度八幡平市一般会計補正予算(第4号)

歳入、歳出それぞれ5億6044万円を増額するものです。主な歳出は昨年8月の豪雨と同9月の台風18号の災害復旧関連で、次のとおりです。

▼台風18号災害公共土木施設災害復旧測量設計業務委託料 8500万円
▼河川等災害復旧工事 1億2610万円

● 今回の台風18号による災害は激甚災害指定を受けたのですか。

● 9月27日付で指定となる見通しという通知を受けています。(10月4日閣議決定され、10月9日に施行)。



第2回臨時会の冒頭、3期目の就任あいさつを述べる田村市長

問 恒常的に災害が起きる箇所は、災害復旧とは別に対策を行うべきです。
答 毎回同じ災害を受ける箇所は、関係団体と連携しながら抜本的な対応が必要と考えます。

◆11月18日◆

第3回臨時会

原案可決

●平成25年度八幡平市一般会計補正予算(第5号)

歳入、歳出それぞれ8億7589万円を増額するものです。主な歳出は昨年9月の台風18号の災害復旧関連で、次のとおりです。

▼八幡平温泉郷引湯管整備事業費補助金 1億円
▼農業用施設災害復旧工事 1億6110万円
▼河川等災害復旧工事 4億706万円

問 農地および農業用施設に係る小規模災害復旧事業費補助金の対象農家は、来年度でも申請できますか。

● 本年度末の土地改良区との調整の中で対象となり、年度を超えた工事発注もありと理解しています。

◆12月5〜13日◆

第4回定例会

原案可決

●あつせんの申立てに関し議決を求めることについて

東京電力福島第1原発事故に伴う損害賠償約1055万円を支払うよう、原子力損害賠償紛争解決センターにあつせんの申し立てをしようとするものです。

●八幡平市職員の修学部分休業に関する条例

公務に関する能力向上のため、職員が大学などで学ぶ際に一定の休業を認める制度を導入しようとするものです。

●八幡平市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例

コミュニティセンター化に伴い、教育委員会が行ってきたスポーツと文化に関する

する事務を、市長が管理・執行しようとするものです(4月1日施行)。

問 教育委員会の職務権限である青少年教育や女性教育、公民館事業などどのような取り扱いですか。

● これらの職務はコミュニティセンターで展開することから、教育委員会所管から市長部局へ移管します。

●八幡平市立コミュニティセンター条例

公民館を廃止し、市民的・自主的な学習活動の推進、社会教育事業の実施、主体的な地域活動の拠点「市立コミュニティセンター」を12カ所設置するとともに(左表参照)、各施設を指定管理できるようにするものです(4月1日施行)。

問 条例中の「社会教育」と「生涯学習」の違いをどのように捉えていますか。

● 生涯学習は、社会教育を含めた学校教育や趣味など、広く網羅した学習活動と捉えています。

●八幡平市ががんばろう岩手基金条例の一部を改正する条例

「八幡平市がんばろう岩手基金」の設置を3年間延長し、平成29年3月31日までしようとするものです。

●平成25年度八幡平市一般会計補正予算(第6号)

歳入、歳出それぞれ2億4622万円を増額するものです。主な歳出は次のとおりです。
▼コミュニティセンター移行関連情報機器購入費 787万円

◆10月3日◆

第2回臨時会

●平成25年度八幡平市一般会計補正予算(第4号)

歳入、歳出それぞれ5億6044万円を増額するものです。主な歳出は昨年8月の豪雨と同9月の台風18号の災害復旧関連で、次のとおりです。

▼台風18号災害公共土木施設災害復旧測量設計業務委託料 8500万円
▼河川等災害復旧工事 1億2610万円

● 今回の台風18号による災害は激甚災害指定を受けたのですか。

● 9月27日付で指定となる見通しという通知を受けています。(10月4日閣議決定され、10月9日に施行)。



第2回臨時会の冒頭、3期目の就任あいさつを述べる田村市長

問 恒常的に災害が起きる箇所は、災害復旧とは別に対策を行うべきです。
答 毎回同じ災害を受ける箇所は、関係団体と連携しながら抜本的な対応が必要と考えます。

◆11月18日◆

第3回臨時会

原案可決

●平成25年度八幡平市一般会計補正予算(第5号)

歳入、歳出それぞれ8億7589万円を増額するものです。主な歳出は昨年9月の台風18号の災害復旧関連で、次のとおりです。

▼八幡平温泉郷引湯管整備事業費補助金 1億円
▼農業用施設災害復旧工事 1億6110万円
▼河川等災害復旧工事 4億706万円

問 農地および農業用施設に係る小規模災害復旧事業費補助金の対象農家は、来年度でも申請できますか。

● 本年度末の土地改良区との調整の中で対象となり、年度を超えた工事発注もありと理解しています。

請願1件を採択 発議案1件を可決

第4回定例会では、請願1件を審査し「採択」と決定したほか、議員発議による意見書1件が提出され、審議の結果、原案のとおり可決しました。

●産業建設常任委員会審査

●免税軽油制度の継続要望に関する請願書(請願者II(株)岩手ホテルアンドリゾート代表取締役社長・高橋三男ほか1団体) 軽油引取税(1リットルあたり32円10銭)の課税免除措置の継続を求める内容 採択すべきもの

●本会議の審議結果 全会一致で「採択」に決定

議員発議

●免税軽油制度の継続を求める意見書(提出者II産業建設常任委員長・古川津好) ●本会議の審議結果 全会一致で原案可決(意見書は衆議院議長や内閣総理大臣などに提出)